

## 業者選定方法見直しを

指名業者  
九州建設コンクリート協会  
鹿児島県と意見交換

建設コンクリート協会（建コン協）九州支部（田中清支部長）は18日、鹿児島県と2021年度の意見交換会をウェブ形式で開

で先行している業務入札での総合評価方式の試行を改めて求めた。

県への個別提案は▽指名業者の選定方法の見直し▽ウェブ会議の活用▽電子契約システムの導入。

指名業者の選定方法の見直しで建コン協は、現行の業務委託の分割発注による指名競争入札では指名業者数が多いため受発注者双方の事務負担が大きく、指名業者数を確保するために技術力不足の業者を指名し落札しても業務を履行できないケースがあると指摘。指名業者数や工区割りの見直し、国土交通省の一括審査方式のような方法の採用を求めた。

高度な技術力が求められる業務では技術的な適性を確認し指名業者を選定してほしいと求めた。

県は分割発注では工区割りも含め今後検討する余地があるとの見解を示した。ウェブ会議の活用について県は本庁と振興局でタブ

レットを配備しており受注者側から要望があれば対応すると回答。コロナ禍収束後もウェブ会議を進めるとした。電子契約システムの導入要望に対しては、取り組む場合は全庁的に行う必要があるとの回答にとどめた。

県・政令市共通の提案と要望のうち担い手の確保・育成のための環境整備の関連では建コン協が納期の平準化を要望。県は24年度に第4四半期納期の割合を40%以下とする目標を設定し、早期発注に努めているとした。

表彰制度に関して建コン協は業務表彰に加えて技術者の表彰制度を導入してほしいとし、発注件数に対して受賞件数が少ないことも挙げ対象の拡大を求めた。県は検討すると応じた。

技術力による選定の関連で建コン協は佐賀県や長崎県、宮崎県の取り組みを踏まえ、簡易型も含めた総合評価方式の試行を検討するよう改めて求めた。品質の確保・向上の関連では条件明示チェックシートの活用、業務スケジュール管理表を用いた管理を要望した。